

1 会議の運営・拠点づくりの進め方に関する意見

- ・この委員会でどういったことを話し合っていくのかについて、委員全員が理解していくところから始めなければならない
- ・夢のようなことも話しながら考えていければいい

委員会の基本方針

- ・委員一人で抱え込まず周囲の意見を聴きながら意見を出してもらいたい
- ・地域の皆さんは、まだ「生活圏の拠点づくり」を自分の事として捉えられていない
- ・地元の役員にも意見を聴いて話しをしていきたい
- ・「千種のまちを良くするために、みんなで作ろうな。」という意気込みを伝えてほしい。
- ・拠点づくり計画の事を、いろんな地域・年代の人に知ってもらうための方法を考えて欲しい

地域への周知  
→ 委員会だよりの発行

- ・子どもが小さい場合は小中学校の状況についてよく分からないので、そのあたりの意見も伺いたい
- ・市の各部局や社会福祉協議会、まちづくり推進委員会など、既に実践している団体などから話を聞く機会も設けて欲しい

委員の追加/  
勉強会

- ・幅広く意見を聴くためにアンケート用紙を配布してはどうか
- ・事務局はこれまでに出了意見や今後出てくる意見を一覧で見られるように整理して欲しい
- ・ワークショップのような形で一人ひとりが意見を書き出してみる作業も必要

意見のまとめ方

4 将来の地域づくりに向けた取組・活動に関する意見

- ・大きな変化というよりも少しずつ、じわじわと変えていく取組が必要
- ・和歌山県では村がコンビニを経営して、郵便局が宅配を行っているような事例もある
- ・地域で仕事を生み出し、地域の生活を維持するために、新しい取組を事業として打出す事が大切
- ・千種は昔から一村一町としてコンパクトに発展してきた経緯があり、他の町域と比べても、まとまり易い地域性がある
- ・島根県の事例はまさに社会福祉協議会の取組にも通じるものがある
- ・千種は自然を活かして、酸素や水を売ることも考えるべき
- ・「ええとこ通信」や「ええとこセンター」を活用しながら、様々な世代で情報共有を図ることが大切
- ・水道料金や給食費など、「千種に住むと良い事がある。」といった特典があると良い。

5 「生活圏の拠点」の役割・機能に関する意見

- ・拠点施設にはバスターミナルが必要
- ・ローソンのような24時間営業も考える必要がある
- ・AIやドローン、自動運転など先端技術を視野に入れた検討を行う必要がある

交通/物流

- ・センター千種にはミラーボールがあり、昔は披露宴会場として利用していた
- ・ホールは文化交流の場として大切/ホールがよければいろんな人を呼んでイベントを開催できる
- ・千種町の皆が楽しめるような文化・娯楽・交流の場があると良い
- ・規模の大きなイベントや、5~6人のサークルでの普段使いなど、いろんな用途に使えるホールを備えて欲しい
- ・以前はセンターのホールで青年祭の催しが開かれていた
- ・ミニ文化会館を1階にして、2階を庁舎機能にしてはどうか

賑わい/娯楽

- ・千草自治会では公民館がなく、総会などもセンターを利用しているので、建替えのときは考慮頂きたい
- ・子ども達とおじいちゃん、おばあちゃん世代が自然と繋がれるような場所があると良い
- ・拠点施設に貸し出し用の部屋を設けて、ママ同士が助け合ったり、教えあったり出来る場所があれば良い
- ・童謡コーラスなど親子3世代で楽しめるようになればより良い。

世代間交流/  
コミュニティ支援

- ・千種に行けばあんな施設があるよという事で、市内からも利用しに来ていただけるような機能があればよい
- ・50年先を考えるならば「田舎だから田舎を参考にする」のではなく、「千種に行ったら凄いものが見られる。」というよ  
うな施設が出来ればよい
- ・いったん施設を整備すれば30年~50年その施設を使っていくことになる、使いやすく喜ばれる施設を

特色ある施設  
づくり

- ・庁舎として確実な避難所機能を備えるために、宿泊や炊出しの機能も重要
- ・(非常時に)室内を仕切ってシェアハウスのように使うことの出来る施設になればよい
- ・センター千種は第2機動分団の車庫も兼ねているので、新たな施設においてもその確保は必要
- ・災害に強い施設という視点も大切

防災  
安全・安心

2 千種の魅力(良いところ)に関する意見

- ・千種は山間部なので不便な面もあるが、良い面も沢山ある
- ・図書館では読みたい本がすぐに借りられる
- ・水がおいしい事も地域の魅力
- ・診療所で待たずに見てもらえるのは大きなメリット、時間外でも診てもらえる
- ・千種は買い物、交通の便が整えば凄く住みやすい
- ・子ども園も子ども一人あたりの先生の数が手厚く、充実している
- ・千草は商店街があり生活しやすい

3 千種の課題(困りごと)に関する意見

- ・引っ越してきて一番困ったのは、近くに小児科・耳鼻科がない事です
- ・子どもの病気は一刻を争うので、やはり専門の先生に診ていただけると安心できる
- ・習い事などもピアノや英語、体を動かす活動など、幅広い選択肢から選べるようになれば良い
- ・地域外から習い事の先生を呼んでくる事も考えられる
- ・幼少期の吸収力は凄いので、この時期の体験はとても大切

幼児期の子育て  
環境

- ・5年先、10年先を考えるとAコープや千種高校が無くなることも考えられる
- ・これからの子ども達はいろんな人と関わって、大人数の中で成長していく事も大切
- ・将来的には千種高校が無くなるかも知れないという話も聞く
- ・教育を高める取組を地域全体で進めれば、IターンやUターンにも繋がるのでは

教育環境/  
千種高校の存続

- ・30年先になるとかなり高齢化が進んでいる。
- ・「一宮生活圏の拠点づくりの考え方」では高齢者に関する記述が少ないように思う

高齢化への対応

- ・集落部では豪雪などで身動きが出来なくなることもある
- ・自分の子どものことを考えると、(高校も)通える範囲は限られてくる

交通環境

6 「生活圏の拠点」におけるエーガイヤの役割・機能に関する意見

- ・エーガイヤは保健・医療・福祉など地域包括ケアの拠点として市民にしまれている
- ・エーガイヤも老朽化していく中で、拠点の一部としてどのように機能させるか
- ・確定申告のときなど市民局とエーガイヤを行き来しなくてはならない、一度で書類をその場で揃えられる
- ・市民からするとすぐに繋げる体制が大事(ワンストップ)
- ・エーガイヤは健康づくりのエリアにしようと診療所を移転し、行政の福祉部門と社会福祉協議会も入っている
- ・エーガイヤにも居住機能がある

■ 千種生活圏の拠点づくり検討委員会 これまでの主な意見(会議録より抜粋)

● 第1回 委員会

No	意見
1	この委員会でどういったことを話し合っていくのかについて、委員全員が理解していくところから始めなければならない
2	5年先、10年先を考えるとAコープや千種高校が無くなることも考えられる
3	いったん施設を整備すれば30年～50年その施設を使っていくことになる、使いやすく喜ばれる施設を
4	委員一人で抱え込まず周囲の意見を聴きながら意見を出してもらいたい
5	拠点施設にはバスターミナルが必要
6	ローソンのような24時間営業も考える必要がある
7	千種は自然を活かして、酸素や水を売ることも考えるべき
8	AIやドローン、自動運転など先端技術を視野に入れた検討を行う必要がある
9	千草自治会では公民館がなく、総会などもセンターを利用しているので、建替えのときは考慮頂きたい
10	地元の役員にも意見を聴いて話しをしていきたい
11	30年も先になるとかなり高齢化が進んでいる。
12	千草は商店街があり生活しやすい
13	集落部では豪雪などで身動きが出来なくなることもある
14	室内を仕切ってシェアハウスのように使うことの出来る施設になればよい
15	ホールは文化交流の場として大切
16	ホールがよければいろんな人を呼んでイベントを開催できる
17	センター千種のミラーボール。昔は披露宴会場として利用していた。
18	エーガイヤにも居住機能がある
19	ミニ文化会館を1階にして、2階を庁舎機能にしてはどうか
20	夢のようなことも話しながら考えていければいい
21	エーガイヤは保健・医療・福祉など地域包括ケアの拠点として市民にしまされている
22	・エーガイヤも老朽化していく中で、拠点の一部としてどのように機能させるか
23	千種町の皆が楽しいことができるような交流の場
24	ホール機能が充実すれば良い
25	確定申告のときなど市民局とエーガイヤを行き来しなくてはならない、一度で書類をその場で揃えられるように
26	千種には娯楽施設がないので、皆が一同に介して楽しめる場所づくりをしてほしい
27	拠点づくり計画の事を、いろんな地域・年代の人に知ってもらうための方法を考えて欲しい
28	千種に行けばあんな施設があるよという事で、市内からも利用しに来ていただけるような機能があればよい
29	エーガイヤ健康づくりのエリアにしようと診療所を移転し、行政の福祉部門と社会福祉協議会も入っている
30	市民からするとすぐに繋げる体制が大事
31	文化・娯楽施設が千種町にないので、施設を建替えるときはそんな場所が欲しい

● 第2回 検討委員会

No	意見
1	子どもが小さい場合は小中学校の状況についてよく分からないので、その当たりの意見も伺いたい
2	引っ越してきて一番困ったのは、近くに小児科・耳鼻科がない事です
3	子どもの病気は一刻を争うので、やはり専門の先生に診ていただけると安心できる
4	高校も自分の子どものことを考えると、通える範囲は限られてくる
5	将来的には千種高校が無くなるかも知れないという話も聞く
6	これからの子ども達はいろんな人と関わって、大人数の中で成長していく事も大切
7	教育を高める取組を地域全体で進めれば、IターンやUターンにも繋がるのでは
8	習い事などもピアノや英語、体を動かす活動など、幅広い選択肢から選べるようになれば良い
9	外から先生を呼んでくる事も考えられる
10	幼少期の吸収力は凄いので、この時期の体験はとても大切
11	拠点施設に貸し出し用の部屋を設けて、ママ同士が助け合ったり、教えあったり出来る場所があれば良い
12	千種は買い物、交通の便が整えば凄く住みやすい
13	ワークショップのような形で一人ひとりが意見を書き出してみる作業も必要
14	島根県の事例はまさに社会福祉協議会の取組にも通じるものがある
15	事務局はこれまでに出了意見や今後出てくる意見を一覧で見られるように整理して欲しい
16	千種は不便な面もあるが、良い面も沢山ある
17	診療所で待たずに見てもらえるのは大きなメリット、時間外でも診てもらえる
18	子ども園も子ども一人あたりの先生の数が手厚く、充実している
19	図書館では読みたい本がすぐに借りられる
20	水がおいしい事も地域の魅力
21	童謡コーラスなど親子3世代で楽しめるようになればより良い。
22	50年先を考えるならば「田舎だから田舎を参考にする」のではなく、「千種に行ったら凄いいものが見られる。」というような施設が出来ればよい
23	大きな変化というよりも少しずつ、じわじわと変えていく取組が必要
24	和歌山県では村がコンビニを運営して、郵便局が宅配を行っているような事例もある
25	地域で仕事を生み出し、地域の生活を維持するために、新しい取組を事業として打出す事が大切
26	幅広く意見を聴くためにアンケート用紙を配布してはどうか
27	災害に強い施設という支店も大切
28	地域の皆さんは、まだ「生活圏の拠点づくり」を自分の事として捉えられていない
29	「千種のまちを良くするために、みんなで作ろうな。」という意気込みを伝えてほしい。
30	「ええとこ通信」や「ええことセンター」を活用しながら、様々な世代で情報共有を図ることが大切
31	庁舎として確実な避難所機能を備えるために、宿泊や炊出しの機能も重要
32	センター千種は第2機動分団の車庫も兼ねているので、新たな施設においてもその確保は必要
33	以前はセンターのホールで青年祭の催しが開かれていた
34	規模の大きなイベントや、5～6人のサークルでの普段使いなど、いろんな用途に使えるホールを備えて欲しい
35	水道料金や給食費など、「千種に住むと良い事がある。」といった特典があると良い。
36	子ども達とおじいちゃん、おばあちゃん世代が自然と繋がれるような場所があると良い
37	千種は昔から一村一町としてコンパクトに発展してきた経緯があり、他の町域と比べても、まとまり易い地域性がある
38	市の各部局や社会福祉協議会、まちづくり推進委員会など、既に実践している団体などから話を聞く機会も設けてもらえれば話が進み易いのではないかと